## 理事長挨拶

「日本を護る会レポート 53 号」をお届けします。年の瀬の何かと慌ただしい候ですが、皆様方におかれましては、お元気にお過ごしの事と拝察申し上げます。当会は現下の激動する世界情勢において我が国本来の文化伝統の再認識による我が国の進むべき方向の追求と共に積極的に駐日諸外国大使を講師にお迎えして視野を拡げて諸外国の状況の理解と世界全般の動きに対する理解増進を図る事も模索しております。引き続き会員等の皆様の御支援、御協力をお願いしますと共に当会の活動に対しての建設的な御意見、御提案をお待ちしております。

大橋 武郎

# 第44回 研修会

日 時 令和6年10月19日(土) 午前11時 ~ 場 所 日本銀行貨幣博物館

同博物館は昔の金座(金貨=小判鋳造所)に建つ日本銀行隣接の金融研究所にあります。我が国の有史以来の貨幣を展示する博物館で入場は無料です。日銀創設 100 周年記念に 1985 年に開設されました。同日 11 時に地下鉄日本橋駅に集合した参加者 1 7 人はそこから歩いて 5 分ほどの同館に入り見学を開始しました。入ってすぐの場所に



は1億円札束の重さを体験しようという箱があり両側から手を入れ何やら怪しげな包みを持ち上げる試みからスタートです。日本最古の貨幣、和銅開寶ですね。これ最近は和同開珎=わどうかいちんと読むのが定着したそうです。いや、最古の貨幣は富本銭で、



これも暫くは伝説に過ぎず「まじない」に使われたとか全国に流通しなかったとか否定され

気味でしたが最近はこれこそ最古の貨幣という説が有力だそうですがご存じでしたか? という風に昔教科書で習った興味引く資料が沢山展示され、皇朝十二銭、宋からの輸入銭とか江戸の大判、小判、藩札ひいては明治期の金、銀貨や最初の紙幣そして最新の渋沢栄一の紙幣迄、実物が展示されとても2時間では見切れず最後の方は見学省略となった方が多かったようです。見学の後は三越本店のレストランで昼食をとり3時頃解散致しました。朝から沢山金貨やお札を見て次に三



越という高級百貨店のレストラン、という何やらお金持ちになったような充実した1日でした。





参加者一部の方々

# 第107 回 定例会

「リトアニア その過去と現在」 演題

講師 駐日リトアニア共和国特命全権大使 オーレリウス・ジーカス閣下

日 時 令和6年11月16日 14時~ 於: 銀座サロン・ド・ジュリエ

日本から約6000km離れた欧州の北海道程度の国土と人口約270万人リトアニアという国が今まで何 度となく他国に蹂躙され、その都度逞しく生き残られた歴史と現状についてご講演頂きました。参加者は最後ま で熱心に聞いて質疑応答も活発に行われました。



#### 講師略歷

1978年 カウナス市生まれ

1998~1999年 金沢大学 日本文化研究生 (日本文部省奨学金)

2002~2003 年 早稲田大学 商学研究科 (AIEJ 奨学金)

2011年 ヴィータウタス・マグヌス大学博士号(外交・政治学)取得

2017~2019年 グローバル・ジャパン・オフィス (カウナス) コーディネータ

2019~2021年 カウナス日本友好協会 会長

2022年5月13日現職着任

テーマ1 リトアニアという国



面積  $65,300 \text{ km}^2$ 人口 270万人 公用語 リトアニア語 通貨 ユーロ

6000の湖→

日本との位置関係



国土の3分の1が森林



テーマ2 食文化





黒パン→

ツェペリナイ



←シャルティバルシチェイ

## リトアニアの食材は日本でも買えます。













エスカルゴ

テーマ3 リトアニアの歴史(1) 大国





- ●1009年 リトアニアの名前が 初めて言及される
- ●1253年 ミンダウガス王の戴冠
- ●1392~1430年 リトアニア 大公国
- ●1569年 ポーランド・リトアニア共和国

古都トラカイ 冬は凍結して歩いて渡れる





リトアニアの首都ヴィリニュス 人口60万人、旧市街はユネスコ文化世界遺産

## リトアニアの歴史(2)戦間期の共和国

- ●1918年 2月 16日 独立
- ●1922年 日本との外交関係樹立
- ●1944年 ソビエトによる占領

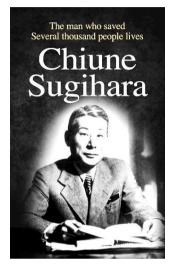
## リトアニアの歴史(3)ロシア帝国による占領

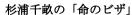
- ●1795年 ポーランド・リトアニアの 分割
- ●帝政ロシアによる統治
- ●1864 年 リトアニア語の禁止















●1988~1990年 独立運動

- ●1990年3月11日 独立宣言
- ●1991年1月13日 血の日曜日
- ●1991年 秋 独立承認



現在のリトアニア

- ●民主化が成功した国
- ●国際社会が作ったルールを守る国
- ●勇気のある国
- 経済的に成功している国
- ICT へ力を入れている国



リトアニアの歴史(4)歌いながらの革命

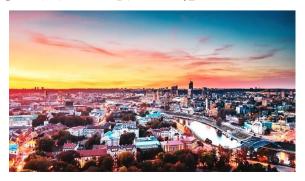






## リトアニアの経済

- ●バルト諸国の中で最大の経済国
- ●世界で第12番目に自由な国
- ●国際税務競争力指数で6位にランクイン
- 価値のための闘い
- 生き残るための闘い
- ●90%もの公共サービスをデジタル化



### 我が文明を「東の野蛮人」から守る

- 価値のための闘い
- 生き残るための闘い

#### ロシアを孤立させる

- 経済制裁
- ・2022 年以来ロシアとの貿易: 0%
- エネルギー独立: LNG ターミナル 再生可能エネルギー

#### ウクライナについて

ウクライナ支援:約10億EUR

- ●軍事支援: 4 億 590 万 EUR
- ●人道的および民間支援-1 億 200 万 EUR
- ●エネルギー分野: 1 億 100 万 EUR ウクライナへの二国間援助において、リトアニアは、GDP の割合をふまえ世界で最もまたは 2 番目の大きな貢献者です一般市民の運動
  - 軍事支援:5億 EUR
  - ・ ドローン「Bayraktar」: 590 万 EUR
  - ・"RADAROM!" キャンペーン: 1 億 400 万 EUR
  - ・ 難民受け入れ: 8万人 (一人当たりの難民受入数は、 OECD 加盟国中、第4位)
  - 政府からの支援:4億 EUR ウクライナ復興:1億600万EUR
- ●ウクライナの再建": 2022 年7月ヴィリニュス
- 実行済みのプロジェクト
- "Future school for Ukraine"
- 地雷除去連合イニシアティブ

#### リトアニアと日本



2007年天皇皇后両陛下リトアニア訪問



2022年リトアニア首相日本訪問







参加者一同

# 第108 回 定例会

演 題 第一次世界大戦勃発から110周年によせて : セルビア共和国と日本の関係 講 師 駐日セルビア共和国特命全権大使アレクサンドラ・コヴァチュ閣下 日 時 令和6年12月10日 18時~ 場 所 銀座サロン・ド・ジュリエ

駐日セルビア共和国特命全権大使 アレクサンドラ・コヴァチュ閣下を講師にお迎えして長い歴史を持ちながらもあまり知られていないセルビア共和国と日本の友好関係に焦点を当て、セルビアは西バルカン地域の中心的な国であり、20世紀に多くの紛争が起きた場所として知られているバルカン半島に位置していて、その紛争の一つが第一次世界大戦であり、一世紀以上も前に同地域で発生したある出来事がそのきっかけとなり日本も参戦したこの悲劇的な戦争の全体像を見渡すことは、両国と両国民の関係をより深く理解する機会です。



#### 講師略歷

ベオグラード大学言語学部卒業

- 2001年、2004年~2005年 大阪で日本語研究

2002年 外務省 研修生

2004年 駐イギリス・セルビア共和国大使館 アタッシェ

2006~2011 年 駐日セルビア共和国大使館 領事・文化部 三等書記官

2012~2013年 外務大臣官房 一等参事官

2021年 駐日セルビア共和国大使に任命

2022 年 駐パラオ セルビア共和国大使に任命(非駐在大使)

- 使用言語は英語、日本語、フランス語

#### \*セルビア共和国という国





面積:77.474 平方キロメートル(北海道とほぼ同じ)

人口:660万人

首都:ベオグラード

国家記念日:2月15日 8つの国との国境

# \* 日本で有名な人物



ニコラ・ヨキッチ



ノバク・ジョコビッチ



ドラガン・ストイコヴィッチピクシー"



発明者:ニコラ・テスラ

(携帯電話・無線通信技術のパイオニア)

アインシュタインの最初妻の ミレーヴァ・マリッチ物理学者

#### \*セルビアと日本の関係

19世紀末セルビア王国のミラン1世が大日本帝国の明治天皇に書簡を宛て、返書で明治天皇がセルビアを国家承認したことに始まります。「第一次大戦以前は日本、セルビア両国ともロシア宮廷に使節を派遣していたものの、ロシアのみならず、他の拠点を通じても交流が行われていた。」WWIでは日本は連合国側に立って中央同盟国に宣戦布告し、ロシアや地中海経由でセルビアに物資を支援した。

#### \*両国の関係

東日本大震災への寄付:5,000 万ディナール(約4,525 万円)

姉妹都市 : 埼玉県富士見市とシャバツ市 (昭和53年10月23日締結)

「金鳥」の発明 : 1930 年大日本除虫菊の創業者上山英一郎が大阪駐在ユーゴスラビア王国名誉領事に

任命された。

「セルビア人も人類にして諸君と等しく最愛の子女もあり、最愛の婦妹もあり。憐なる老人もあらん。しかして今彼等は凶悪なる墺独軍と、その国のために生死の境に立て、進まんか死あるのみ、退かんか我が国を如何せん。闘うに弾丸なく、争うに刀なく、食するに糧なし。その国苦、酸鼻の極みというべし。。。この勇猛なる国民を救助せられんこと、切に余の望むところなり。



#### 大正四年九月十四日

#### 水谷村長」

現在の埼玉県富士見市にあたる



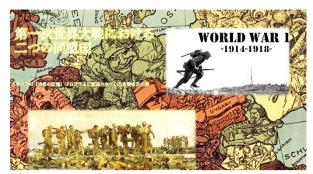






#### \*セルビア共和国は

西バルカン地域の中心的な国であり、20世紀に多くの紛争が起きた場所として知られているバルカン



半島に位置しています。その紛争の一つが WW I であり 1世 紀以上も前に同地域で発生したある出来事がきっかけになりました。1914年6月28日サラエボ事件:オーストリアのフランツ・フェルナンデス大公夫妻が狙撃暗殺された。(セルビアの危機)オーストリア=ハンガリー軍の侵攻にし当初は善戦したが、1915年10月にブルガリアがセルビアに宣戦布告、ドイツ軍の指揮下に入ったオーストリア=ハンガリー軍と、

ともに攻撃を開始、首都ベオグラードが陥落した。(大戦の終結) WWIで連合国軍の勝利が見通せるようになると、1917年「コルフ宣言」を発表、そこでセルビア王国のカラジョルジェヴィチ王朝のもとで、セルビア人クロアティア人、スロヴェニア人を統一した立憲君主国を建国することを宣言した。









(ユーゴスラビア王国の建国) 1918 年 11 月に戦争が終わり、オーストリアニハンガリー帝国が崩壊すると南スラブ地域は混乱した。12月1日セル

ビア王国の摂政アレクサンド ラ公は「セルブ=クロアート= スロヴェーン王国」の建国宣言

を行った。1929年にユーゴスラビア王国に改称したセルビアはWWII後、社会主義国ユーゴスラビア連邦の有力な一員となった。1980年その指導者ティート死去を機に解体が始まり、セルビアは連邦維持の立場で内線が続いた。

2006年に分離、単独のセルビア共和国となった。

## \*セルビア共和国

2014年以来、2030年までに欧州連合(EU)へのを実現させることを目標としている。セルビア共和国は、世界 40 ケ国以上に 550 を超えるセルビア軍事関連の記念碑を設置している

2025年大阪万博 : 出展「うかづる島」

2027年ベオグラード : 評定博覧会[EXPO 2 0 2 7]









#### 質疑応答







懇親会







# 事務局からのお知らせ

- \* 当会の会計年度は設立の経緯から7月に始まり翌年の6月に終わります。その結果、年次総会は9月に行うことになっています。会員の皆様には多少分かりにくい面があることと思われます。会員規約には、年会費は7月1日から3カ月以内(9月30日まで)に支払わなければならないと定めております。今年度の会費未納の方は早急にお支払い頂きたくお願いいたします。
- \* 会の運営は年会費に加え定例会の収入に頼っています。よって定例会においては参加者が少ないと欠損を出す結果を招きます。会場が埋まるように是非皆様の積極的なご参加とご友人などをお誘いいただければ幸いです。

# 今後の予定

・ 令和 7 年新年の昇殿祈祷及び新年会

日 時:令和7年1月11日(土)12時 場 所:金王八幡宮(東京都渋谷区渋谷)

・第 109 回定例会(予定)

日 時:令和7年2月22日(土)14時 場 所:東銀座 「サロン・ド・ジュリエ」

講師:シンガポール共和国駐日大使

日本を護る会・レポート 第53号 令和6年12月発行 編集発行: 認定特定非営利活動法人 日本を護る会

> ホームページ:<u>http://awake-japan.sakura.ne.jp</u> E-mail : awake-japan@googlegroups.